

孫たちと爺々のオリエンテーリング

No.39

武石雄市

渡辺綺羅(小2)、来生(M6)、季香(W4)、武石雄市(M70)

上野動物園の地図は変だ。
世代交流のネンリンピック。
旅は未だ終わらない？
古希を迎えた爺々へ
ぼくたちも弟子になりたい。
蜂の越冬は命がけ。

パンダとペンギン

11月初旬の平日、爺々の提案(都合)で上野動物園に行くことになった。動物園は何回行って興味も尽きないようだ。同行の孫二人と動物園に着いた。

爺々「来生は何が見たいの？」

来生「ボク、ペンギンとレッサーパンダが見たい」

季香「ききょうちゃんはパンダが見たい」

爺々「案内の地図をもらったよ。らいちゃんはこれで案内できる？」

来生「爺々、この地図変だよ。北のしるしが斜めになってるよ」

爺々「来生は新幹線の中でも北の方向を調べてたけど、方角は全部判るの？」

来生「北の反対は南でしょ、東は右だから西は左かな？」

季香「季香ちゃんは早くパンダ見たい」

来生「今、ここに居るからあっちだ。隣りがレッサーパンダが居るよ。カワウソからトラを廻ってゴリラを見たらペンギンさんに行くよ」

しかし、この案内図は動物の折を強調して表示している目的図なので、折角正置しても通路の距離や方角が微妙に異なり、あたりを見回して見つけなければならない。

来生「爺々この地図変だよ。僕、コンパス持ってきたら良かったな」

幼児とはいえ、偶に参加するオリエンテーリング大会で地図とコンパスを振り回して、ただ走り回っていると思ってたが、大人(主催者)が子ども達用に渡している地図やコンパスも其れなりに影響のあることが判った。

改めて、門前の小僧習わぬ経を読むに得心した。

季香「じいじい、ウエノ動物園見たか



ウエノ動物園の地図。今度はシタノ動物園にも行きたいな。

ら、今度はシタノ動物園に行きたいな」
爺々「??? ハハハ・季香ちゃん、反対の言葉遊びを覚えたんだね。上(ウエ)があるから下(シタ)の動物園もあると思ったんだね」
季香「そうだよ。なんだ、無いのー、詰まんないな」

戸黄門様で本当の名前は水戸光圀公(みとみつくにこう)という昔の偉い方なんだ」
綺羅「ふーん、でも地図とコンパスもって走ってるよ」
爺々「これはね、この間、爺々とおばあさんが参加したネンリンピックのマスケットなんだ」
綺羅「オリエンテーリングは、大昔からあったんだね」
爺々「??? そうだね、やじさん、きたさんを従えて全国行脚のときは、さぞかしロゲイニングだったろうね」
綺羅「しばらくオリエンテーリングやってないなあ。どこかに行きたいな」

世代交流の全国福祉祭



綺羅「このおじいさん、爺々みたい」
爺々「綺羅君恐れ多いことを言うなよ、この方はテレビでお馴染みの水

旅は終わらない

11月5日、爺々は古希の朝を迎えた。遠くの孫たちが Fax で「じいじいおめでとう、これからも長生きして修行に連れて行ってください」と送ってきた。

妻が起きて「アレ、今日は居たの」と、きたもんだ。

爺々はこの時期、例年大会参加で家に居たことが無いそう。そう云えばこの数年、誕生日に家に居てゆっくり

馳走を食べたことを思い出さない。
 爺々の1年はオリエンテーリングで明け暮れる。スキー0は当然のように内外に出かける。今年も1月早々にはスウェーデンに3月はモスクワに居た。



北欧の1月は日中でも暗い

【以下は妻の独り言】

『雪のない夏に少しはじっとしているかといえどとんでもない。さくらんぼ大会のために一人で動き回っているし、老眼で眼が見えないとか耳が難聴になったとか言いながら、遠くまで車を運転して出かけるし、英語も読めないのに外国でも車を平気で運転しているらしい。』

体力が無くなったといって嘆きながら11月になると雪を求めて若い者と一緒に北海道までスキー合宿。古希を迎えたことを自覚しているなんて、とても思えないわ。

フット0もスキー0も大会役員に友人知人を始め当然のように家族を当てにして計画しているんだから、皆様にどんなに迷惑が掛かっているのか本当に申し訳ない気持ちです。孫の幸だって技術が上達したことは感謝しているかもしれないけど、学校を欠席してまで海外の大会に連れ出されるのは迷惑に思っているかもしれないのに。幸は心根が優しいから、きっと断りにくいかもしれないのに。今度、東根に来た時は幸の本当の気持ちを聞き出しましょう。小さい孫たちを相手にのんびり出来ませんか？主人にはきっと無理かもしれませんがね。』

それでも爺々のたびは終わらない、もうすぐ、スキー0マスターズでスイスに出かける。(1/11 - 22)

可哀想なハッチー

季香「じいじい、この袋に何が入っているの？」

爺々「ハッチーさんだよ」

季香「きらー、らいきー、じいじいがハッチー持ってるよー」

綺羅・来生「えー？、ハッチーって蜂？」

爺々「そうだよ、さくらんぼ大会の地図調査をしていたら生きてる蜂の巣を見つけたんだ」

一同「えーっ、生きてる蜂？刺されないの？何蜂？」

爺々「これは怖いスズメバチ。ハッチーはね、暖かいと元気に飛び回って人間を刺すが、寒くなると巣に引っ込んで動かないんだ」



こわごわに蜂の巣を持ってる綺羅君



爺々「ハッチーのおうちを覗いてみようか」

来生「巣の下の方に穴が開いてるよ」

爺々「そこから蜂が出入りするんだけどね、今日は寒いから動けないでいると思うよ」

来生「爺々、巣の中は見れないの？」

爺々「見てみたいか？」

季香「季香ちゃんも見てみたい」

爺々「それでは、蜂さんに可哀想だけど、二つに割って中を見ることにしよう」



爺々がのこぎりで二つに切った



蜂たちは黒くなって皆死んでいた



怖かったがお勉強になりました

以上 地図調査副産物としての一こま (武石雄市)